



# 10月のほけんだより



令和5年10月号

双葉保育園

厳しかった残暑もようやく終わりが見え、爽やかな秋の風が心地良く感じられるようになりました。園庭からは、子どもたちのはしゃいだ声が聞こえてきます。

運動会の練習も少しずつ始まっています。元気に当日を迎えられるよう、御家庭と連携しながら、お子さんの体調面に気を付けて行きたいと思えます。

## 《9月の欠席・感染症状況》

新型コロナウイルス:1人  
インフルエンザ:1人  
発熱・呼吸器症状:46人  
溶連菌感染症:2人  
嘔吐・下痢症状:8人

## 10月の保健行事

健康診断  
20日(金)12:15~  
つくし組・ひまわり組

## 溶連菌感染症に御注意ください。

お子さんの発熱時、病院受診せず、御家庭で療養して回復することもあると思えます。ただ、のどの痛みを伴うときや、解熱後、再発熱が見られた場合は受診をお願いします。

溶連菌感染症は、抗生物質の服用で良くなりますが、治療をしなかったり、途中で服用をやめてしまったりすると後で、腎炎やリウマチ熱を引き起こすこともあります。

溶連菌感染症と診断されましたら、医師の口頭許可の上、抗生物質内服後、24~48時間経過してからの登園をお願いします。



## インフルエンザ予防接種が始まります！

インフルエンザ予防接種が始まる時期になりました。調布市内では、概ね、10月上旬からインフルエンザ予防接種が始まります。開始日は各クリニック・医院で異なりますので、開始時期、予約の有無などを御確認ください。

予防接種は、インフルエンザにかかった場合の重症化を予防する効果や、発症をある程度抑える効果が期待できる一方で、健康状態等によっては副反応などが生じる場合もあるので、かかりつけ医などに相談してください。

生後6か月未満のお子さんは、インフルエンザ予防接種が受けられないので、生後6か月未満のお子さんがある御家庭は、御家族が予防接種を受けて、感染予防をしてください。

☆お子さんの予防接種が済みましたら、予防接種連絡票の記入をお願いします。

## 足に合った靴の選び方

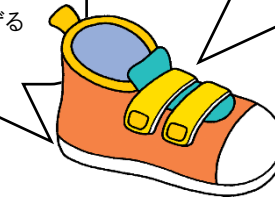
すぐに成長するからと、つい、合わない靴をはかせていませんか？靴が足に合っていないと、不自然な足の使いかた、歩きかたのまま足が育つこととなります。成長著しいこの時期こそ、適切な靴選びが重要なのです。再度見直してみてください。

### 柔らかく、クッション性のある靴底

足の動きにフィットする柔らかさと、地面からの衝撃を和らげるクッション性が必要。

### 調整ベルトがついている

足を固定し、足と靴を一体化させる。



### つま先にゆとりがある

理想は5mm。すぐに成長することを考え、5~9mmのゆとりがあるものを。指が自由に動かせるように、つま先が広がって厚みがあることも大事。

\* 運動会は足に合った、履きなれた靴を御用意ください。

## 10月10日は目の愛護デー ~目を大切に~

### こんな行動があったら要注意

- 目を細めたり、しかめたりする。
- 横目でものを見ることが多い。
- テレビなどに極端に近づいて見る。
- 必要以上にまぶしがる。

一度、眼科を受診してみてください。

## 貼るタイプの虫刺され治療薬について

気温が35℃を超える猛暑日より、少し涼しくなった秋のほうが、蚊の活動が活発化しているようで、蚊に刺されることが多くなっています。

お子さんの虫刺され時用に、市販薬や病院処方貼るタイプの薬がありますが、剥がれてしまった場合に誤食する恐れがあるため、貼らずに登園していただくようお願いいたします。服に貼る虫除け剤も同様です。虫に刺されたときは、かきむしると、とびひになることがあるので、塗り薬で早めに治療してください。